

保渡田古墳群の向きの謎

中央中等教育学校 1年4組 30番 榛澤美羽

保渡田古墳群の古墳の向き之谜

研究テーマ

保渡田古墳群の古墳はなぜ向きがばらばらなのか

研究の動機

ばらばらな向きに並べられたのには何か理由があると思い、考えてみようと思った。

研究の方法

①インターネット等で調べる

→調べること

保渡田古墳群について。どんな人が埋まっているのかわかれば、手がかりになるかもしれない。

②仮説をたてる。

③実際に行ってみたり調べたりして確認する。

④結果を確かめる。

⑤仮説が成り立たない場合、新たな仮説をたてる。

⑥③・④をくりかえす。

⑦結論を出す。

研究

調べたこと

八幡塚古墳について

- ・取り囲んでいる4つの島は、ここで祭りが行われていたと推定されている。
- ・6000本もの埴輪があり、埋蔵者は権力を持った豪族だったと考えられている。
- ・後円部にある墓の1つは豪族本人、もう一つはその近親者であると考えられている。

保渡田古墳群全体について

- ・五世紀から六世紀にかけてつくられた。
- ・順番は二子山古墳→八幡塚古墳→薬師寺古墳
- ・二子山古墳と薬師寺古墳は向きが同じ、八幡塚古墳は向きが違う。

仮説1 埋蔵者の没年の干支の方角を表している

本人と親近者の墓ということだが、あまりに向きがばらばらなのであまり共通点がない没年の干支の方角かもしれないと思った。また、それなら二つの古墳の向きがかぶる可能性もあり得ると思う。

見てきた結果

その古墳の方位

方位……八幡塚古墳 南南東、巳年の方角

二子山古墳・薬師寺古墳 西南西、申年の方角



↑八幡塚古墳、手前側が前方



↑二子山古墳、後円部から

考察

近くに堅穴式古墳もあって、意外と有名な豪族で王朝とも通じていたらしいが、王朝の方角を向いているということでもないの、その豪族に関係のある方位ではないかと思う。

新たな疑問

予想の没年という確証は得られなかった。では他に向きに影響を出しそうなことは何だろうか。

仮説2 神を祀っていた場所、寺や神社

神に守ってもらえるようにと、神が宿る方角に向かって建てたのかもしれない。

調べ方

Google マップや地図帳から、それぞれの方角の先には何があるか、インターネットからそこが古墳時代から神聖な場所とされていたのか、を調べる。

調べた結果

八幡塚古墳：南南東の方角……大円寺・井堤神社があった。

大円寺は鎌倉時代にでき、江戸時代に今の場所に移動。よって、古墳時代とは関係がない。

井堤神社はデータ無し。

二子山古墳：西南西の方向……白川神社

白川神社は、創建月日不明。こちらも古墳時代とは関係がなさそう。

考察

どれも歴史がある寺や神社だが、古墳時代からそこが神聖な場所だったのかは不明。よって、この仮説が正しいと言い切ることはできない。

他に影響のありそうなものは何だろうか。

仮説 3 太陽の方向

自然の力に神が宿ると考えていた時代なので、太陽を神とみてその方向に向けて作られたのではないか。

調べ方

一番権力があつたであろう日本一大きい大仙古墳はどの方角を向いていて、かかった年月はどれくらいなのかを調べる。埋葬者が死んだ時間の太陽の向きに向いていたのではないか。また、いくつかの古墳についてもグーグルマップで方角を確認する。

調べた結果

大仙古墳は作るのに 15 年ほどかかっていた。方角は南南西で、これも南に向いていた。どの古墳も南を向いているのか調べるために、群馬の古墳の方角をいくつか調べてみる。

山王金冠塚古墳…南東

梁瀬二子塚古墳…西南西

太田天神山古墳…南西

考察

ここで調べたものは全て南を向いており、ほとんどの古墳は南を向いているものと思われる。南は太陽が通る方角であることからこの説は仮定することができる。

仮説 4 地形

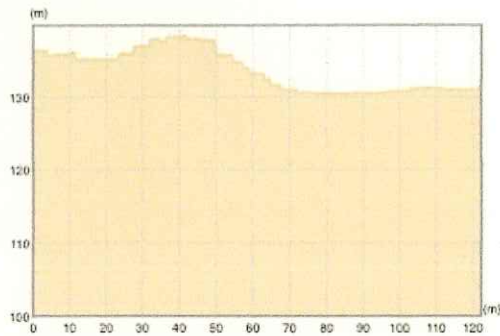
重機もない時代の工事だったので、つくりやすいように地形を考えてつくったのかもしれない。

調べ方

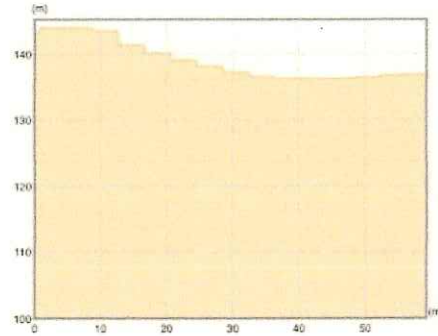
地形図で調べる。

調べた結果

地形図の断面図を見た結果、古墳の頂上と下は八幡塚古墳・およそ13メートル、二子山古墳・およそ7メートルの高低差があり、古墳の後円部は盛り上がったところに作っていることがわかった。八幡塚古墳、二子山古墳ともにちょうど盛り上がった場所に古墳が作られていた。



↑八幡塚古墳



↑二子山古墳考察

二つとも後円部の土地が盛り上がっていた。だから、盛り上がっている場所が後円部になるようにと考えてつくっていたのではないかと思う。つまり古墳はつくりやすい場所につくっていたという推測が成り立つ。

まとめ

保渡田古墳群の向きは、盛り上がった場所が後円部分になるようにつくられていたことがわかった。それは、重機もない時代になるべく楽につくれるようにした古墳人の知恵だと思う。地形からつくる向き、場所を決めるということは現代にはなかなかなさなことだと思う。また、保渡田古墳群のみならず、多くの古墳が太陽の通る南側を向いていたことがわかった。

今回の研究で私は、保渡田古墳群は作りやすい場所に太陽に向けて作られていたという結論に達した。

参考文献

<https://www.travel.co.jp/guide/article/21534/> 1500年前“そのまま”の前方後円墳は必見!
群馬県「保渡田古墳群」周辺

www.uraken.net/rail/travel-urabe28.html 日本の旅 保渡田古墳群・かみつけの里博物館～群馬県高崎市～

<http://ameblo.jp> 保渡田古墳群 (その1・その2) | 異界行 - アメブロ

chrono2016.blog.fc2.com/blog-entry-267.htm 意王山 大円寺

https://maps.gsi.go.jp/index_m.html#17/36.379210/138.985623/&base=std&ls=std

地理院地図 | 国土地理院

<https://www.google.co.jp/maps/@36.3459027,139.0109167,15z> グーグルマップ